

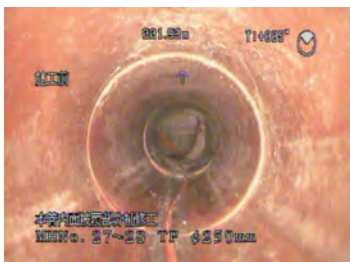
管更生工法（本管）、取付管ライニング、部分補修等、簡単・標準的に施工ができる時代は終わりました。このため、施工が難しい箇所が多くなって来ておりますので、施工会社も技術者の育成をお願いすると共に、メーカーといたしましても、立会い施工指導支援を強化しております。自治体様のニーズに応えるためにも、積極的に施工が難しい箇所へも挑戦をお願いいたします。

本管補修・一体型補修

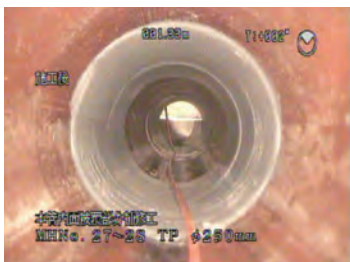
1 本管補修（熱硬化） ジョイント

φ250 陶管 ジョイント部補修

施工前



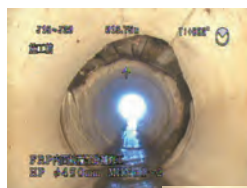
施工後



2 本管補修（熱硬化） 破損

φ450 ヒューム管 破損部補修
ヒューム管に開いた穴を管体外側より塞いであった状況

施工前



施工後の
アップ



施工後



3 本管補修（光硬化） ジョイント

φ250 ヒューム管 ジョイント部補修

施工前



施工中
（光硬化）



施工後



4 一体型補修（熱硬化） 角度の悪い取付

φ700-150 ヒューム管
取付管管口部破損および角度が悪い場合の一体型施工

施工前



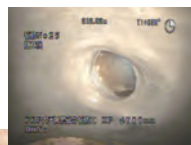
取付管
管口部分



施工後



取付管
管口部分



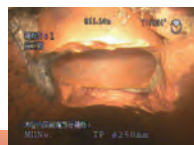
5 一体型補修（熱硬化） 取付管管口破損後

φ250-150 陶管
取付管管口部破損状況での
一体型施工

施工前



取付管
管口部分



施工後



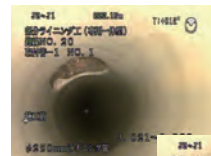
取付管
管口部分



6 一体型補修（光硬化） Y字管施工

φ250-150
本管ライニングと取付管ライニング
後の一体型施工（Y字管）

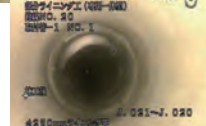
施工前



施工中（光硬化）



施工後



施工前



施工後
取付管部分
（ライニング）

